

# 金型製作一筋の技術を武器に STLデータ加工に挑戦 進化するものづくりをめざす

海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイainジャパン 試作可小ロット 量産対応



STLデータによる金型。まるで彫刻のような繊細かつ芸術的な造形物を再現できる

## 「デジタルフリーデザイン」で 新たなシボ加工を実現

昭和48年の創業以来、金型製作一筋でさまざまな顧客の要望に応え続けている日清精工。プラスチック用、ダイカスト用金型を主軸とし、小物金型から1300トンクラスの大物金型まで分野を問わず幅広く金型を製作している。

最近では、3Dデータや微細な凹凸を描ける製品設計CADを駆使してシボの形状データを作成し、小径エンドミルで木目やレングラ柄等の柄を加工する『デジタルフリーデザイン』に注力している。従来、プラスチック金型のシボ加工とは金型表面を薬品で腐食させて凹凸を作っていたが、同社では3DデータCADにてシボ柄を完成させ、高速マシニングセンターによる切削加工を実現。高性能、高品質かつ大幅なコスト削減、加工時間の短縮というメリットを持つ金型製作を可能にした。また、同じ手法で写真データを3D化し、同様の金型を製作することができるのも特徴。顧客の要望やアイデアをカタチに新しいものづくりに取り組む。

## STLデータでめざす オンラインワン企業

同社は現在、さらなる新分野に挑戦している。それがSTLデータ加工だ。STLとは三次元形状を表現するデータを保存するファイルフォーマットのひとつ。三角パーツのポリゴンパッチと呼ばれる粒状のデータが集約されることで、リアルな人間の細かいシワ、葉脈等の細部まで表現できる。しかし、従来のデータと比べ何十倍ものデータ量となるため加工に向い



STLデータで制作されたアイラッシュコンパクト『Mary Angela』

ていないと敬遠され、扱う企業は少ない。また、金型製作においては従来のパラメトリックデータと融合させなければならぬが、この融合のキワの処理が非常に難しい。そんな困難なデータ加工にあえて取り組む理由、それは岩谷社長のチャレンジ精神にある。量産用金型業界において認知度が低いSTLデータというニッチな部分に着目し、オンラインワンの技術を持つことこそ、金型業界で生き残れる道だと考えているのだ。

このデザイン性に富んだ加工ができるSTLデータを用いて『アイラッシュコンパクト』の開発・制作を開始し、いよいよ販売までこぎつけた同社。まさに、新たな道を歩み始めている。

今後の課題は、このSTLデータをどのように活かしていくかだ。「受け身に徹するばかりの金型業界において、これからは、提案型にシフトしていきたい」と語る岩谷社長。価格競争の世界に身を置くのではなく、オンラインワンのものづくりによって、他社との差別化、自立化を図る意向だ。ものづくりの根底を担っているといっても過言ではない金型を武器に、攻めのスタイルに転じ、さらなる飛躍をめざす。

他社には  
負けない

当社のもづくり  
セールスポイント

「昨日より今日、今日より明日」  
この精神で成長し続けてまいります

代表取締役社長 岩谷 清秀 さん



今、金型業界は中国勢に圧され大変な不況です。しかし、この現状に負けず、短納期に対応すべく社員全員体制で頑張っています。そんな社員の気持ちに応えるため、また一人でも多くのお客様のニーズに応えられるよう、新技術にチャレンジし、新事業立ち上げにも取り組んでいます。

### Company Profile

株式会社日清精工

大阪  
22

住所 〒577-0835  
東大阪市柏田西1-11-2

TEL 06-6727-3717

FAX 06-6727-6034

設立 昭和48年4月

資本金 7,670万円

従業員 22名

代表取締役社長 岩谷 清秀

#### ■主な事業内容

プラスチック用金型・ダイカスト用金型の設計・製作、各種金属加工製品企画制作、販売

#### ■主な取引先

樹脂加工品製造メーカー 等

<http://www.nissinseikou.com>